

スズキとデータ・テックが セニアカー見守り通信システムの実証実験を開始

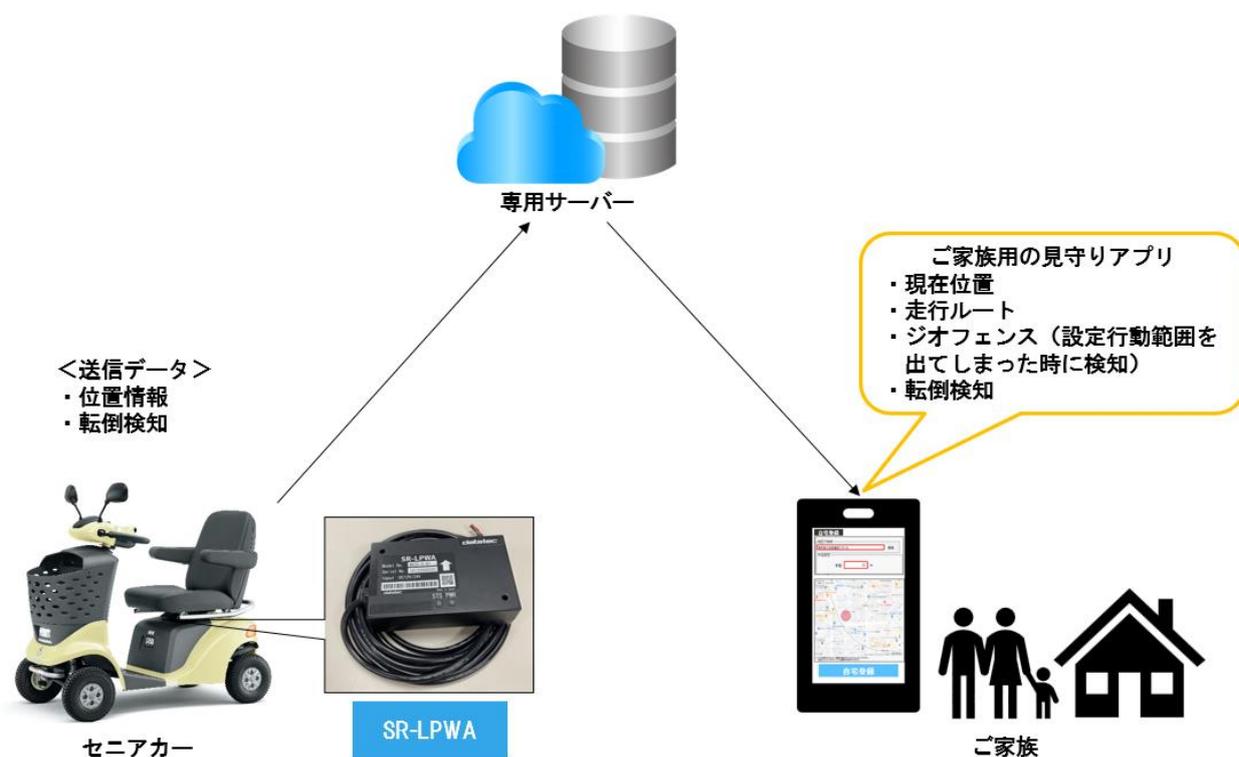
スズキ株式会社(本社:静岡県浜松市、代表取締役社長:鈴木俊宏、以下 スズキ)と株式会社データ・テック(本社:東京都大田区、代表取締役社長:森島敬一郎、以下 データ・テック)は、ハンドル形電動車いす「セニアカー」*1の利用者とそのご家族等に、より安心と安全をご提供することを目的に、IoT 車載器を活用した見守り通信システムの実証実験を2023年6月より開始します。

実証実験を通して、セニアカーに求められる機能やサービスを把握し、今後の製品開発に繋げていきます。

● 実証実験について

今回の実証実験では、スズキが製造する「セニアカー」にデータ・テックが開発したIoT 車載器「SR-LPWA」*2を装着し、利用中の位置情報の取得や転倒検知を行います。取得した位置情報は専用サーバーを介して、あらかじめ登録されたご家族の持つ見守りアプリ*3にて閲覧が可能です。また、転倒を検知した際はご家族にメール通知を行い、リアルタイムでセニアカーの状態を把握することが出来ます。

<実証実験のシステム*4構成>



<実証実験の概要(予定内容を含む)>

実験期間	2023年6月から10月
実験地域	全国
使用車両	ハンドル形電動車いす「セニアカー」

- ※1 日常の移動手段として主に徒歩や自転車での外出が難しい高齢者の方にご利用いただいているハンドル形電動車いす。使用時の速度は時速 1km～6kmの間で設定が可能で、道路交通法では歩行者として扱われるため、運転免許は必要ありません。
 - ※2 SR=セイフティレコーダ LPWA=Low Power Wide Area(省電力広域通信) の略。
 - ※3 SR-LPWA で取得した位置情報等をスマートフォンで閲覧するアプリケーション。
 - ※4 実証実験でセニアカー利用者のご家族等が使用するシステムで、SR-LPWA で取得した位置情報や転倒検知情報等を専用サーバーで受信し、見守りアプリに連携する一連の仕組み。
- * 記載されている商品名、会社名等は各社の商標または登録商標です。

以上